



2020年4月17日

各 位

会 社 名 株式会社AOKIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 青木 彰 宏
 (コード番号 8214 東証第一部)
 問合せ先 取締役副社長 田村 春 生
 (TEL 045-941-1388)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、固定資産の減損に伴う特別損失が増加する見込みとなりました。また、2019年11月7日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

ファッション事業において営業効率改善のため、閉店店舗の増加や閉店決議を行ったこと、また、ファッション事業における暖冬やビジネススタイルの変化の影響及び各事業において新型コロナウイルス感染症の影響等もあり売上高が減少したことなどから、減損損失を通期で24億50百万円を予想しておりましたが、40億円程度と特別損失が増加する見込みとなりました。

2. 2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	192,500	12,300	11,300	5,400	63.03
今回修正予想(B)	180,200	6,600	5,450	450	5.26
増減額(B)-(A)	△12,300	△5,700	△5,850	△4,950	
増減率(%)	△6.4	△46.3	△51.8	△91.7	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	195,054	13,491	11,890	4,602	53.34

(注) 当期より不動産賃貸収入及び不動産賃貸費用の表示方法を「営業外収益」、「販売費及び一般管理費」及び「営業外費用」から「売上高」及び「売上原価」に変更しており、前期実績は、表示方法の変更の内容を反映させた組替後の数値を記載しております。

3. 修正の理由

- (1) 売上高について、ファッション事業は、暖冬の影響及びビジネススタイルの変化や消費税率引き上げに加え、2月下旬頃から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、3月の既存店売上高は前年比67.1%(新型コロナウイルス感染症の影響は約▲30ポイント強)となりました。アニヴェルセルブランド事業は、店舗数の減少や市場環境等の影響に加え、2月下旬頃から挙式の延期等が発生し3月の売上高は前年比46.7%(新型コロナウイルス感染症の影響は約▲40ポイント強)となりました。エンターテイメント事業は、2月下旬頃まで堅調に推移しましたが、その後お客様の減少の影響が大きく、3月の既存店売上高は前年比82.8%(減少は概ね全てが新型コロナウイルス感染症の影響)となりました。
- 以上により、上記のとおり修正いたしました。

- (2) 営業利益及び経常利益は、各事業で経費の削減に努めましたが、売上高の減少等により予想を下回る見込みです。
- (3) 当期純利益は、経常利益の減少の他、減損損失等の特別損失が増加する見込みとなったこと等により上記のとおり修正いたしました。

なお、セグメント別の修正内容等の詳細は、2020年5月8日(金)発表予定の決算短信をご覧ください。

- (注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以上